

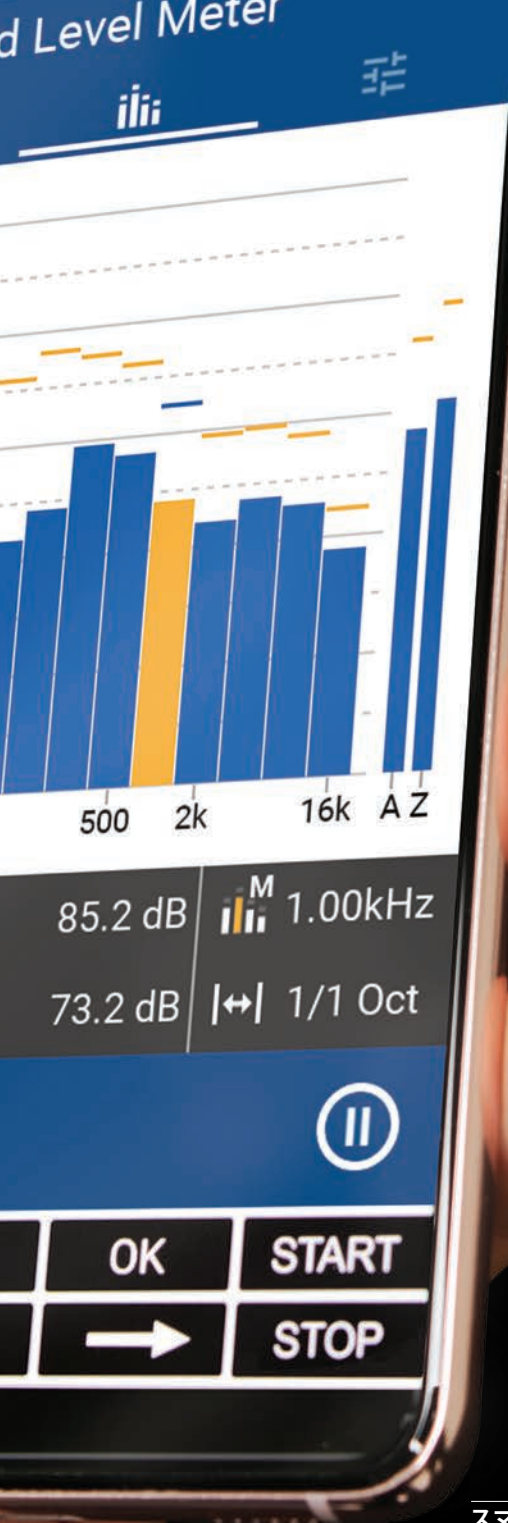
オーディオアナライザ
総合カタログ

+

 Made in Switzerland

Audio & Acoustic
TEST AND MEASUREMENT SOLUTIONS





音のプロフェッショナルと スペシャリストのための サウンドレベルメータ

- Class 1 サウンドレベルメータ
- 周波数分析
- 残響時間測定
- 室内/建築音響測定

XL3は新しいスタンダードを提案します

XL3は騒音測定、室内音響、建築音響向けのプロフェッショナルなサウンドレベルメータおよびアコースティックアナライザで構成されています。音響の専門家の測定ニーズに最適化されています。XL3は、箱から取り出してすぐ可以使用できる数々の便利な機能を装備しています。

フルネットワーク対応

付属のNTi Connect Service (<https://connect.nti-audio.com>) は、様々なモバイルデバイスからXL3の操作とデータアクセスが可能です。

最新テクノロジー

XL3は幅広いレベルレンジを一つでカバーするため、レンジ切り替えが不要です。さらにマイクロホンだけでなく、広帯域仕様により振動センサや超音波センサも接続できます。

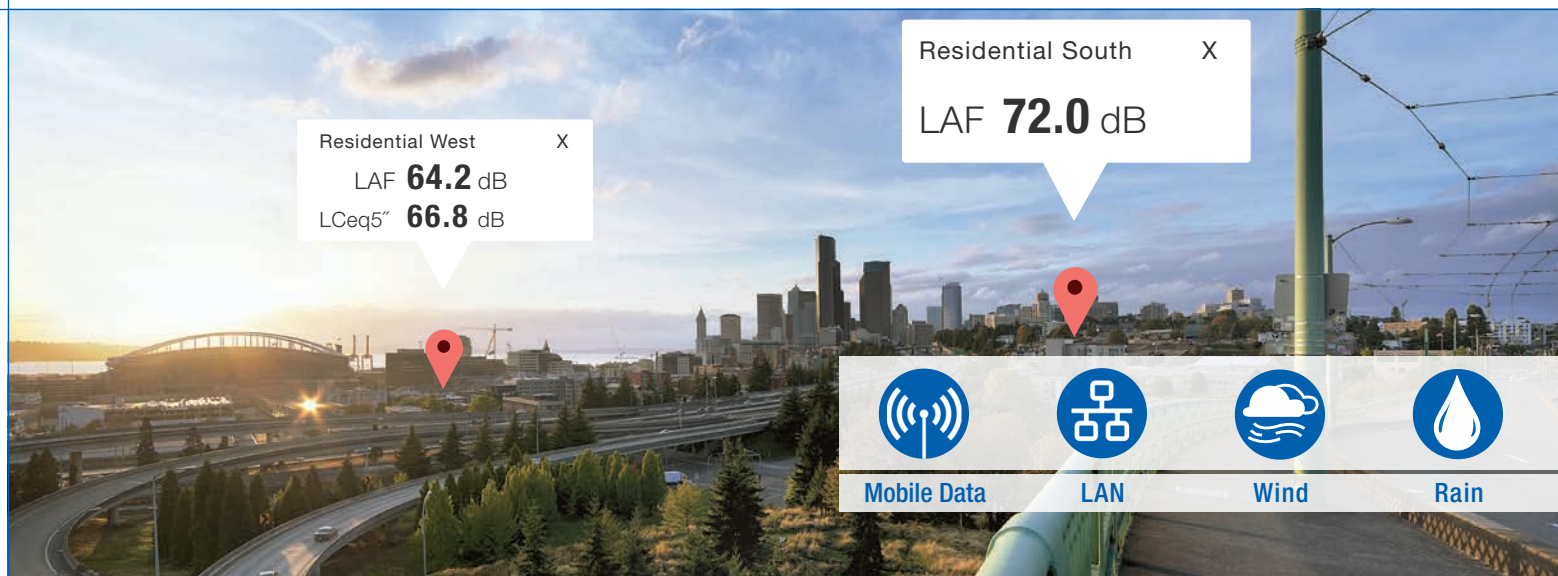
4.3インチの大型IPSカラータッチディスプレイは、480×800ピクセルの高解像度を備えています。ディスプレイ上すべての測定機能を直感的に操作でき、測定値は大きな数字で見やすく表示されます。ディスプレイ下にある8つのキーパッドは、XL3の電源オン/オフや測定のスタート/ストップなど、測定ファンクション共通の機能をコントロールします。

これらの機能により、XL3は室内/建築音響の測定、あるいは騒音モニタリングステーション向けに理想的なデバイスです。



XL3 アコースティックアナライザ

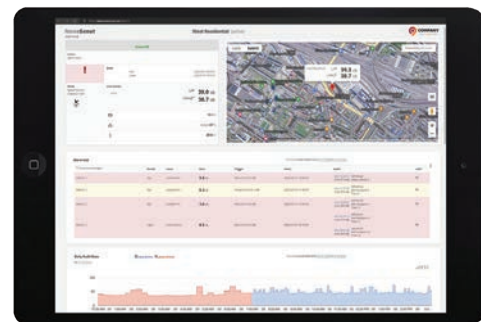
NoiseScoutによる無人騒音モニタリング



NoiseScoutは、包括的で使い勝手の良い騒音モニタリングを提供します。騒音レベルはすべてサウンドレベルメータで記録され、オンラインによるリモートモニタリング、データのダウンロードが可能です。騒音レベルが規制値を超えた場合、AIが記録された音声ファイルを確認し、音響イベントに分類します。さらに、外部のウェザーステーションとGPSセンサへも接続できます。

Webブラウザによる騒音モニタリング

サウンドレベルメータで記録される騒音レベルは、NoiseScoutウェブサイトにライブ表示されます。現場で規制値を超えた場合、アラームメールでお知らせします。その際、最も大きな音のイベントを録音するだけでなく、モニタリングステーションからライブで聞くことができるため、騒音の原因をすぐに特定することができます。



NoiseScout ポータル

環境騒音測定



M2230-WP 測定
用マイクロホン

サウンドレベルメータは、騒音測定モニタリングに必要なすべての機能を装備しています。サウンドレベルメータは、関連するレベルを同時に測定し、必要に応じてすべての測定期間またはトリガしたイベントの音声ファイルを保存します。

全天候型の機器

屋外測定用マイクロホンは、屋外で騒音レベルを正確に測定するための堅牢性と扱いやすさを兼ね備えています。防水仕様のアウトドアケースは、産業騒音や近隣騒音をモニタリングする際に機器を悪天候から保護します。また、バッテリーやアクセサリを収納する豊富なスペースも確保されています。

データエクスプローラによるレポート作成

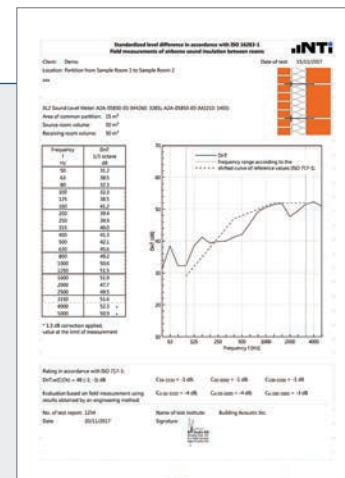
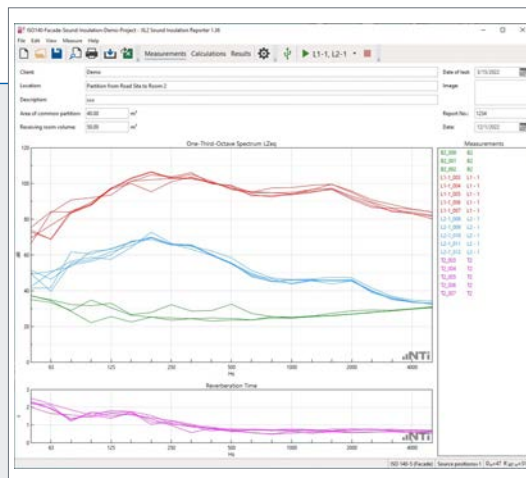
ポスト処理のため、すべてのイベントを含む測定データを測定器またはNoiseScoutのウェブポータルからデータエクスプローラPCソフトウェアにロードし、詳しく分析することが可能です。データエクスプローラは、純音と衝撃騒音を自動的にマークし、評価騒音レベル L_r を計算します。



ヘビーデューティアウトドアケース

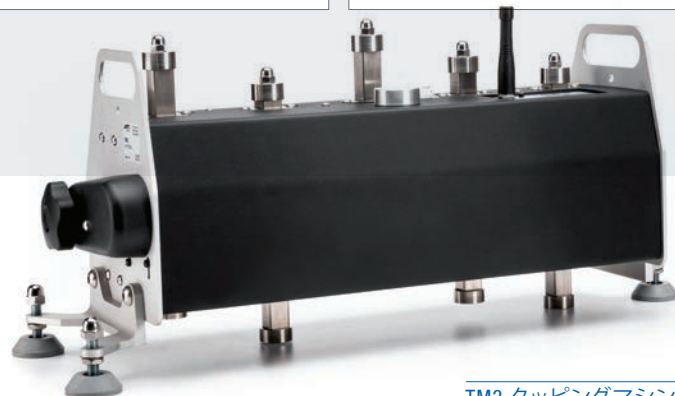
建築音響

建築音響セットは、空気伝搬音、衝撃音、ファサードの遮音性能を評価するために用意されており、XL3サウンドレベルメータ、DS3 12面体スピーカー、PA3パワーアンプ、遮音性能評価レポーターPCソフトウェアで構成されています。すべての結果は規格に準拠して記録されます。



ISO 16283に準拠した音源

無指向性のDS3 12面体スピーカーは、121dBの音響パワーとフラットな周波数特性を備え、重量はわずか7.5kgです。衝撃音の測定には、ドイツのPTB認証を取得したTM3タッピングマシンが用意されています。



TM3 タッピングマシン

音源室と受音室で同時測定

XL3サウンドレベルメータは、音源室と受音室の音響スペクトルを測定します。XL3が2台以上ある場合、リモートでトリガして音源室と受音室を同時に測定できます。

測定レポートの作成

遮音性能評価レポーターPCソフトウェアは、データを詳細に解析し、規格に準拠した遮音性能レポートを作成します。

室内音響



室内音響セットは、住居、教室、講堂、オフィス、劇場、コンサートホール、駅など閉空間での音場を解析できます。

高精度なDS3 12面体スピーカーセット

DS3 12面体スピーカーセットは、室内音響の解析に必要とされる全指向の音場を形成します。DS3は、ノイズ発生器を内蔵するPA3パワーアンプで駆動されます。PA3にはイコライジング機能が装備されており、規格に準拠したフラットなテスト信号を出力します。

室内音響の最適化

XL3サウンドレベルメータは、放射された信号で発生する空間の音圧レベルを測定し、さらに暗騒音と残響時間も測定します。これらの測定データを基に、室内音響レポーターPCソフトウェアでレポートを作成できます。このソフトウェアは、室内に吸音材を追加した場合の効果をシミュレートする機能も備えています。最終的な測定レポートでは、最適化の実施前と後の残響時間を比較できます。



DS3 12面体スピーカーと
PA3 パワーアンプ

XL2 – オールラウンドアナライザ



XL2は、パワフルなサウンドレベルメータ、高精度なオーディオアナライザ、振動計を1台に集約できます。

素早い起動 - 直感的なオペレーション

電源ONで高速スタートアップ、すぐに測定業務に着手できます。そして直観的なインターフェースにより、ビギナーからプロフェッショナルまで測定業務をサポートします。広範な測定パラメータを簡単に設定でき、また必要な測定をプリセットできるプロファイル機能も装備しています。

音響エンジニアのために

音響システムの設計・施工、アナウンス放送や非常用放送システム、騒音モニタリング、室内・建築音響、ライブイベント、労働安全衛生、品質管理など、音響エンジニアの業務は多岐にわたっています。XL2は1台でこれらの幅広い測定アプリケーションに対応できます。

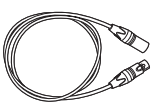
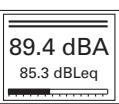
プレジジョンアナライザ

マルチなセットアップ



- 非常用放送システム
- 音響設備
- ライブサウンド
- 振動計
- 品質管理

アクセサリ

 プレジジョン キャリブレータ # 600 000 388	 校正証明書 # 600 000 018	 ASD ケーブル 5/10/20 m # 600 000 336/64/65	 NetBox # 600 000 450
 インпут キーパッド # 600 000 384	 Excelシステムケース # 600 000 334	 XL2用 ポーチ # 600 000 335	 89.4 dBA 85.3 dBLeq XL2 プロジェクタ PRO (PCアプリケーション 無償ダウンロード可能)



XL2 サウンドレベルメータ/オーディオコースティックアナライザ

振動計



機械振動の測定

XL2は振動オプションの追加により、機械部品の検査や構造物の振動を解析するフレキシブルな振動計として使用できます。振動センサの校正データが保存されているICPアダプタを接続することで、XL2は加速度センサかマイクロホンかを判別し、対応する測定モードへ自動的に切り替わります。

加速度、速度、変位

振動計モードでは、下限周波数0.7 Hzまでの加速度を測定し、速度と変位を算出します。また、アプリケーションに対応したさまざまなフィルタと時間重み付けを利用できます。振動計のデータロガーは、すべての測定データをテキスト形式で記録します。

スペクトル解析

XL2振動計は、1/1または1/3オクターブ解像度で0.8 Hzから2.5 kHzの振動スペクトルを解析し、カーソルが支配的な周波数を自動的に指示します。また、リファレンスのスペクトルを保存し、現在のスペクトルと比較することができます。

ライブイベントモニタリング



XL2アコースティックアナライザは、ライブイベントでのサウンドシステムのセットアップだけでなく、会場内や近隣のサウンドレベルのモニタリングにも使用できます。

XL2があなたの音作りをサポート

サウンドシステムにトラブルが発生した場合、XL2で信号バランス、レベル、SN比を測定してトラブルシューティングしてください。また、メモリーに保存されたリファレンスを利用して、左右のスピーカーアレイやモニターのスペクトルを一致させることができます。さらに、すべてのスピーカーのポラリティを確認し、ディレイラインを最適化することで観客に届く音響を改善できます。

音量規制値を遵守

XL2は、DIN15905、DIN45645、Swiss V-NISSG standardsなど、規格で定められた音量規制を遵守する手助けをします。サウンドレベルがディスプレイに表示されるだけでなく、3色のリミットLEDでも警告します。また、プロジェクターPRO PCソフトウェアを使用することにより、複数箇所のサウンドレベルをPCでモニターできます。さらに、XL2はイベント終了後の解析に利用する音声ファイルを保存できます。



プロジェクターPRO PC ソフトウェアの表示例

非常用放送システムのコミッショニング



音声明瞭度STI

非常用放送システムは、空港、駅、ショッピングモール、コンサート会場に必ず設置されています。緊急事態が発生した際には、アナウンスされた言葉がはっきり聞き取れることが重要です。

XL2アコースティックアナライザは、IEC 60268-16とDIN VDE 0833-4に準拠し、構内放送や非常用放送の音声明瞭度をSTIまたはCIS値で表示します。ハンドヘルド型のため、測定箇所の多い広い施設においても手早く測定業務を実施できます。

測定の前、または後に周囲の騒音を記録し、測定結果に加味することで音声明瞭度にどのような影響を与えるか評価することもできます。また、厳密な測定規格に対応するため、複数の測定値の平均と偏差を自動計算する機能を装備しています。さらに、専門的なレポートを作成するにはSTIレポートングツールが用意されています。

STIPA音響信号発生器



校正済み、音響リファレンス



TalkBox

TalkBox – STIPAリファレンスサウンドソース

送話者の口元から聴衆の耳まですべての信号経路をテストするには、アナウンスマイクロホンとコントロールルームの音響も含めて測定しなければなりません。

NTi Audio TalkBoxは、アナウンスシステムの音声明瞭度をエンドツーエンドで測定するために設計された音響リファレンスサウンドソースです。TalkBoxはIEC 60268-16に標準化されたテスト信号を出力し、60 dBA@1mの送話者をエミュレートします。さらに、サイン波、ピンクノイズ、ホワイトノイズなどのテスト信号も装備しています。100 Hzから10k Hzの周波数範囲で低歪のテスト信号を供給し、再現性の高い正確な音声明瞭度測定を実現します。

TalkBoxは、NTi Audioの無響室で1台ずつ校正されています。FIRフィルタ技術を用いたDSPを搭載し、信号の大きさと位相を均等化することで、完全にフラットな周波数特性を実現しています。

Minirator MR-PRO



MR-PROは、コンパクトながらプロフェッショナルのニーズに応える高精度なオーディオ信号発生器です。サイン波、ピンクノイズ、ホワイトノイズ、ポラリティ、ディレイ、チャープ、スイープなどのテスト信号を出力します。

WAVファイル再生

サウンドチェックなど利用できるWAVファイルセットが内部フラッシュメモリーにストアされています。また、個人のテスト信号を本機にアップロードして再生することも可能です。

音響設備のトラブルシューティングツール

接続された機器のインピーダンス、信号バランス、ファンタム電源、ケーブルテストにより、素早いトラブルシューティングが可能です。

MR-PROよりも機能が少なくコストを抑えた、MR2も用意されています。



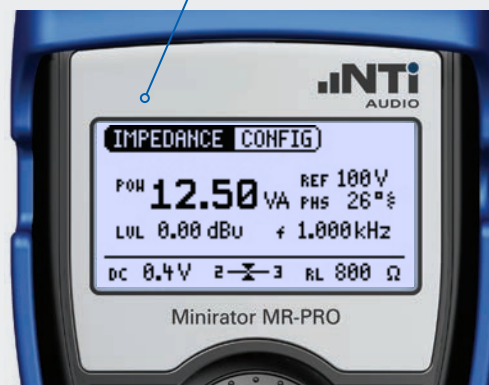
Minirator MR-PRO

フレキシブルな信号発生器 – インピーダンスメータ

WAVファイル再生



インピーダンス測定



ユーザー独自のテスト信号出力ファイル再生

測定要件により標準装備にないテスト信号が必要な場合、MR-PROはユーザーの用意したWAVファイルをUSBインターフェース経由で読み込み出力できます。

インピーダンス測定

MR-PROは、100Vスピーカーラインなど接続した負荷のインピーダンスと位相角を測定します。信号レベルと周波数は任意で選択できます。

さらに、MR-PROは負荷の皮相電力と位相角、および誘導性または容量性について表示します。

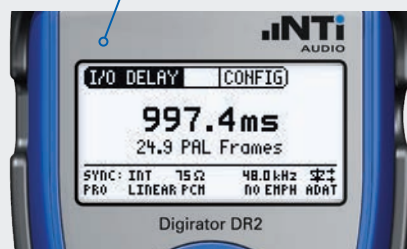
測定結果から、接続した100Vスピーカーの不具合やタップの誤配線を素早く的確に検出することができます。さらに、オーディオ機器に接続してサイン波を出力することで、入力部のインピーダンスと信号バランスが表示され、素早いトラブルシューティングが可能になります。

Digirator DR2

プロフェッショナル仕様



チャンネル・プロパゲーションディレイ測定



チャンネル・トランスペアレンシ測定



Digirator DR2

Digirator DR2は、AES3、S/PDIF、TOSLINK、ADATに対応したリファレンスグレードのデジタルオーディオ信号発生器です。DR2はサイン波、ピンクノイズ、ホワイトノイズ、ポラリティ、ディレイ、チャープ、スイープなど高精度なテスト信号を供給します。また、Dolby Digital、Dolby E、DTSなどプロフェッショナルなデジタル環境に対応したサラウンドサウンド・テストシーケンスを供給します。

安定性の高いクロックジェネレータは、AES3、DARS、ワードクロック、ビデオ信号に同期させることが可能です。テスト機能として、チャンネル・トランスペアレンシチェック、チャンネルディレイ、サンプリング周波数を備えています。

Digilyzer DL1

Digilyzer DL1は、デジタル伝送のチェックと信号品質の評価に不可欠なツールです。ステータスパラメータの解析やトラブルシューティングに役立ち、次のようなニーズに応えます。

- ▶ デジタルオーディオ信号はどのような音か（内蔵モニタースピーカーにて検聴）。
- ▶ デジタルレベルや高調波歪みはどれくらいあるのか。
- ▶ デジタルシステムの周波数レスポンスを知りたい。
- ▶ チャンネルステータスやビット数を知りたい。
- ▶ 伝送期間中に变化したステータスを知りたい。

デジタル・オーディオアナライザ

Digilyzer DL1は、AES3、S/PDIF、TOSLINK、ADATインターフェース対応したパワフルで使いやすいデジタル・オーディオアナライザです。最大96 kHzまでのサンプリング周波数をサポートします。

インテグリティチェック、ビルトインモニタースピーカー、イベントロガー、オーディオレンズなどの便利な機能により、デジタルオーディオインターフェースの比較、モニタリング、トラブルシューティングに要する時間を大幅に削減できます。

データロギング

オプションのMiniLINK PCインターフェースにより、測定値やログファイルをPCのハードディスクに転送し、表計算ソフトで閲覧することも可能です。



Digilyzer DL1

FX100 オーディオアナライザ



FX100 オーディオアナライザ

アナログ/デジタル・オーディオアナライザ

FX100オーディオアナライザは、モジュールのユーザーカスタマイズにより幅広い測定アプリケーションに対応します。数多くの解析機能を提供するだけでなく、ユーザー独自の基準で合否判定も可能です。また、パワフルなDSPにより1秒以下の測定サイクルを実現します。ベーシックな2チャンネル入出力構成に、最大で3つのモジュールを追加できます。デジタルオーディオ、2チャンネル拡張、インピーダンス測定、入出力スイッチャーモジュールが用意されています。

高速・高精度・高信頼性

タイムイズマネー

多くのテストエンジニアが時間的な制約を受けながら、新しい製造テストの手順を構築しています。FX100アナライザは、オーディオ、音響デバイスを効率よくテスト設計するための容易なシステムインテグレーションを提供します。また、パフォーマンスの最適化技術により、圧倒的な測定スピードを実現しています。

ユーザーフレンドリー

FX100の操作はとても簡単です。付属のFX-Control PCソフトウェアは、洗練されたデザインにより測定およびテストシーケンスを直感的に操作することができます。

信頼のサポート体制

FX100のすべてのユーザーは、世界各地に広がるセールス/サービスネットワークを通じて専門的なアドバイスを受けることができます。また、機器を最新の状態に保つため、ファームウェアおよびソフトウェアのバージョンアップを無償で提供しています。

信頼のスイス製

スイス製のFX100には、高精度な電子部品、パワフルなDSP、洗練されたアルゴリズムが採用されており、高速測定とカスタマイズされたトレランスリミットによる合否判定がリアルタイムで可能です。

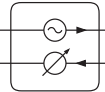
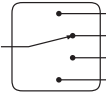
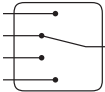
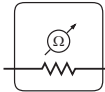
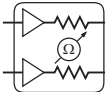
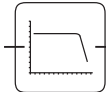
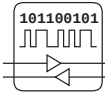
モジュールカスタマイズ

FX100オーディオアナライザはモジュール構成を採用し、測定ニーズに合わせてカスタマイズできます。プラグインモジュールの追加により、さまざまな測定アプリケーションに対応できます。



FX100のモジュール構成例

拡張モジュール

						
チャンネル エクステンション 2 CH -> 4 CH # 600 060 010	アウトプット スイッチャー FX-OS # 600 060 016	インプット スイッチャー FX-IS # 600 060 013	インピーダンス モジュール FX-SIH (25mA-10A) # 600 060 021	インピーダンスモ ジュール+アンプ FX-SIP # 600 060 022	クラスDアンプ 測定用フィルタ FX-DF # 600 060 026	デジタル オーディオ FX-AES # 600 060 024

音響デバイス品質管理のデファクトスタンダード

選ばれる理由

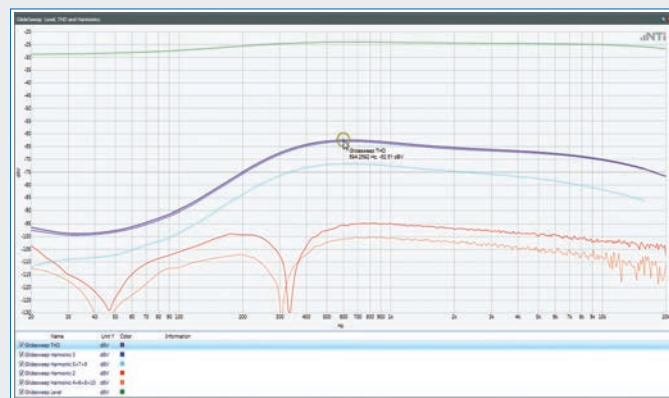
FX100オーディオアナライザは、頻繁に行われる測定要件の変更にも素早く確実に対応できます。さらに、騒音のある環境においてもテスト時間を最小限度にすることが可能です。そして、フレキシビリティ、測定スピード、信頼性を兼ね備え、あらゆる測定ニーズに応えます。

独自機能

FX100オーディオアナライザは、独自の外部トリガー・グライドスイープ測定機能により、スマートフォンやMP3プレーヤーなど、入力コネクタのない機器でも素早く測定できます。手順は簡単で、先ずFX100から被測定機(DUT)へテスト信号をWAVやMP3ファイルでエクスポートします。そして、外部機器でテスト信号を再生し、FX100でDUTのオーディオ特性を測定します。

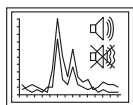
広範囲なアプリケーション

任意のポイントの周波数とレベルでテスト信号を出力します。レベル、高調波歪み、位相レスポンスを測定、または被測定器へ高解像度FFTスペクトラムを使用します。様々なスイープ測定法により、周波数と振幅による被測定器を評価できます。

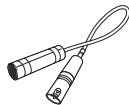


グライドスイープによるレベル、歪み測定

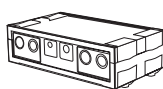
オプションとアクセサリ



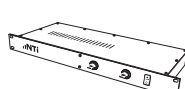
PureSound™
異常音解析
830 000 200



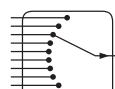
測定用マイクロホン
M2010: # 600 040 010
M2015: # 600 040 015



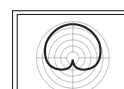
Bluetooth Box
600 061 021



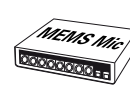
100V RT-IB
インピーダンスボックス
600 010 395



IS-1002
インプットスイッチャー
600 010 425



TT01ターンテーブル
600 061 020



MEMSマイクロホン測
定用インターフェース
600 090 000

直感的なセットアップ

シンプルな設定

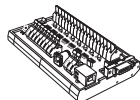
FX100にはWindowsベースのFX-Controlソフトウェアが付属しています。数多くの測定ファンクションについて、メーターで数値を表示するだけでなく、様々なグラフを用いて機器の特性を明らかにします。マルチウィンドウで設定できる測定ファンクションとテストパラメータは、画面の見やすさと作業性の向上に役立ちます。また、フレキシブルなシーケンス機能により、複雑な測定手順であっても素早く簡単に設定できます。

適応力

FX-Controlソフトウェアの大きな特長は、標準的な測定結果をユーザーの要件で演算や自動変換により拡張できることです。測定結果に対して例えば、四則計算やブール演算を適用、また個々の測定結果を互いにリンクさせることも可能です。さらに、トレースされたカーブのスムージングや特定ポイントの取り出し、自動的にトレランスリミットを算出するなど、様々な機能を備えています。



A2B マイクロホン
モジュール
600 000 601



デジタルI/O
アダプタ
600 061 017

FX-Control: カスタマイズされた測定セットアップ例

スピーカーテストシステム

スピーカーの品質管理

測定環境の厳しい生産現場でスピーカーをテストするには、精度や速度と同時に環境騒音に対する適応能力が要求されます。FX100オーディオアナライザとRT-Speakerソフトウェアで構成されるスピーカーテストシステムは、条件の悪い工場内においても、耳障りとされる異常音を正確に検出します。また、レベル、歪み、共振周波数、T/Sパラメータなどの項目や、トレンド分析、ヒストグラム、Cpk/Ppkプロセスコントロールなどの統計解析も可能です。

直感的なオペレーション

ソフトウェアの特長のひとつが、見た目でわかるオペレーション構成です。これにより、ユーザーが測定プロセスをパラメータ化する際に直感的に操作できます。また、管理者とオペレーターの役割を厳密に分離しているため、オペレーターは許可された機能だけしかアクセスできません。例えば、オペレーターはテストの実行はできても設定は変更できません。

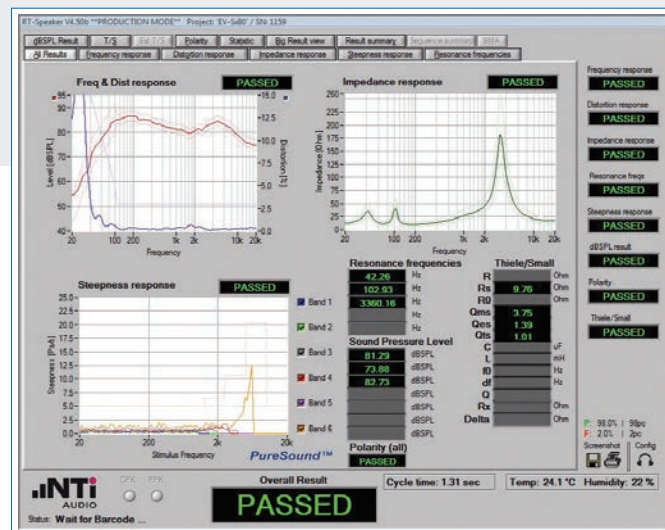
エディションの選択

RT-Speakerソフトウェアは、機能により3つのエディションが用意されています。パッシブおよびアクティブにスピーカーに対応し、マニュアル操作からフルオートメーションまでカバーします。

合否判定の設定

新しい製造テストを構築する際、合否判定の基準を定義する必要があります。RT-Speakerソフトウェアは、このプロセスを非常に容易にします。リファレンスデータ（ゴールデンサンプル）を記録するモードが備わっており、スピーカーの正常か異常、あるいはクラス分けの基準を素早く設定できます。

スピーカーテストソフトウェア



マイクロホンテストシステム

マイクロホンの品質管理

FX100オーディオアナライザとRT-MicFXソフトウェアで構成されるマイクロホンテストシステムは、様々なマイクロホンの品質検査に対応します。例えば、ダイナミック型またはエレクトレットコンデンサー型、デジタルMEMSマイクロホン、A2B™マイクロホン、ヘッドセット、そして携帯電話などの完成品までカバーしています。スタートボタン一つで、周波数レスポンス、感度、歪み (THD)、リニアリティ、SN比を短時間で測定できます。

マイクロホン測定



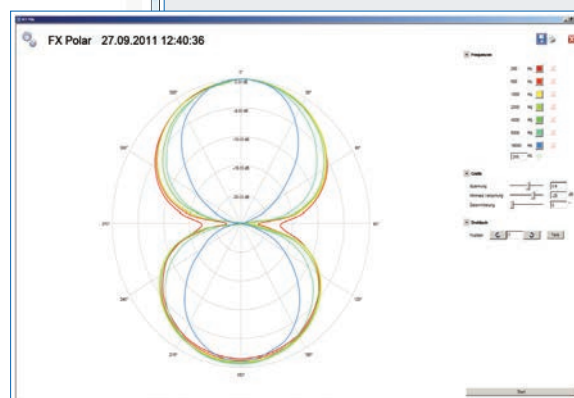
ポーラプロット

ターンテーブル(オプション)と組み合わせることにより、ポーラプロットによるマイクロホンの指向特性を測定できます。

その他のオプション

必要に応じて、アンペアメータ、環境センサなどを追加し、マイクロホンの消費電流、周囲温度、気圧などのパラメータを取得できます。

Polar Plot



マイクロホンソフトウェア

測定用マイクロホン

XL2とXL3アナライザ用マイクロホン

全てのマイクロホンは、48Vファンタム電源に対応し、電子データシートを内蔵しています。XL2のASD（自動センサー検出）は、このデータシートを読み込み、マイクロホン感度と校正データが認識されます。この機能により、素早いセットアップと正確な測定が保証されます。

特長

- ・ 無指向性、自由音場型
- ・ ダイナミックレンジ最大155 dB
- ・ 周波数レンジ 5 Hz - 20 kHz



M2211 / M4261

用途に応じてマイクロホンを選択できます。

型番	内容
M2230	IEC 61672 Class 1規格に準拠、メタルダイアフラム採用
M2340	Class 1測定用マイクロホン、セルフテストシステム（CIC）
M2211	多用途マイクロホン、Class 1の周波数レスポンスに準拠、メタルダイアフラム採用
M2215	高音圧レベル（153 dB）用/メタルダイアフラム採用
M4261	コストパフォーマンスを重視したサウンドレベルテストや音響設備の設置/アフターサービス向け
WP30 / WP61	M2230、M2340、M4261用ウェザープロテクション

FX100アナライザ用マイクロホン

M2010とM2015はコンパクトで高精度な測定用マイクロホンです。研究開発、デザインラボ、生産工程、サービス向けとして、特にスペースに制限のあるアプリケーションに最適です。

型番	内容
M2010	エクステンデッドパフォーマンス/ メタルダイアフラム採用
M2015	高音圧レベル (155 dB)用 メタルダイアフラム採用



M2010 / M2015

屋外測定用マイクロホンは、マイクロホンとWP30またはWP61ウェザープロテクションで構成され、屋外での騒音レベルを正確に記録するための堅牢で使いやすいソリューションを提供します。腐食のないポリマー製ハウジング、ウィンドスクリーン、撥水膜、バードスパイクにより、雨、風、埃、止まる鳥から優れた保護性能を発揮します。

屋外用測定マイクロホンは、測定用マイクロホンとウェザープロテクションで構成されます。

- M2230-WP: M2230 + WP30 ウェザープロテクション
- M2340-WP: M2340 + WP30 ウェザープロテクション
- M4261-WP: M4261 + WP61 ウェザープロテクション



WP30 / WP61

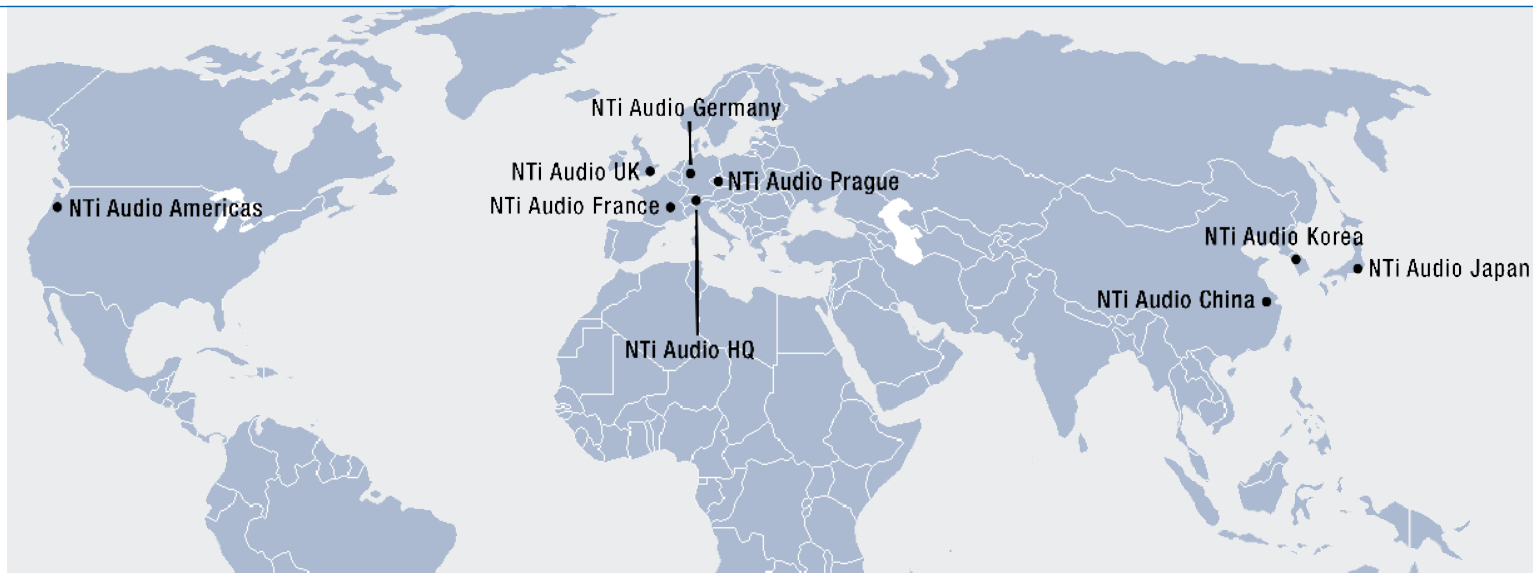
NTi Audioについて



NTi Audio AGは、高精度なテストおよび測定ソリューションを高いコストパフォーマンスで実現することを企業の目的とし、2000年に熱心な技術者集団によって設立されました。私たちは、革新的な製品への欲求を原動力とし、お客様に最大限の満足を提供するために努力しています。現在では、オーディオ、音響、振動測定市場において機器およびソリューションの世界的なリーディングカンパニーとなっています。

本社はリヒテンシュタイン公国（ヨーロッパ）に位置し、グローバル拠点として、ドイツ、イギリス、フランス、アメリカ、中国、日本、韓国にグループ会社があります。さらに、世界50ヶ国以上にセールスおよびサービスネットワークを持っています。





NTi Audioの校正サービスは、お使いのNTi Audio測定器が公表された仕様に適合していることを、トレーサビリティを明らかにした上で文書により証明します。年に一度の校正周期により、精度保証とIEN ISO/IEC 17025規格の要件を満たす管理が可能になります。校正に使用される校正機器は、国家標準にトレーサブルです。校正についての詳しいガイドラインは、www.nti-audio.com/service に記載されています。





info@nti-audio.com
www.nti-audio.com

エヌティーアイジャパン株式会社
〒130-0026
東京都墨田区両国4-8-10 MYSビル
電話:03-3634-6110 FAX:03-3634-6160
japan@nti-audio.com



記載の情報は予告なしに変更されることがあります

XL3, XL2, M2230, M2340, M2211, M2215, M4261, WP30, WP61, NoiseScout, Minirator MR-PRO, MR2, TalkBox, Digirator DR2, Digilyzer DL1, FX100, RT-Speaker, RT-MicFX, PureSound, FX-Control Software, Data Explorer, Sound Insulation Reporter, Room Acoustics Reporter はNTi Audioの商標です。

ICPは PCB Piezotronics社の登録商標です。